

じゃがいも(春植え夏穫り)



品種

メークイン：男爵より細長く、硬めのいもで。煮くずれしにくい。

キタアカリ：皮色は黄色で目の部分に赤紫色の着色がある。やわらかく煮くずれしやすい。

作型の例

月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
作型									
春植え 夏穫り		◆	◆		●	●			
		植付			収穫				

本圃管理

畝作り

肥料・土壌改良資材等を撒いた後、深く耕しできるだけ細かい土壌をつくります。排水対策のため、あらかじめ畝を立てておきましょう。

植付け

3月下旬～5月上旬。芽を残しながら1片が50gほどになるよう切り、切り口を下にして並べ、覆土します。春作では遅霜の被害を防ぐため7～8cmとやや多めに覆土します。

芽かき

芽が3～5cmの長さになった頃1株2～3本立てとします。芽が多すぎるといもが中々大きくなりません。

土寄せ

1回目は草丈15cm頃、2回目はつぼみが見え始める頃に10cmを目安に土寄せを行う。追肥をする場合は溝または畝の肩に肥料を施してから土寄せしましょう。

施肥例

(kg/a)

肥料の種類	基肥	追肥	
		1回目 土寄せ時	2回目 土寄せ時
苦土石灰(注)	10		
過磷酸石灰	3		
硝加磷安333	16	2	2

(注) じゃがいもは弱酸性土壌を好むので、前作等で撒いている場合は量を減らしましょう。



ここが
成功の
ポイント

土寄せ量が不足すると、いもが地上に顔を出し緑化してしまうので、十分に行いましょう。

収穫

茎や葉が黄色くなった頃が目安であるが、試し掘りをして十分な肥大が確認できた頃から早掘りする方法もあります。

収穫したいもは、直射日光が当たらない、風通しのよい所に広げ、3～4日間よく乾かしましょう。

第1回と同様に肥料を施し、土寄せを4～5cmの厚さに行う

土寄せが不足すると、イモが日光に当たって緑化し、品質を損ねる

